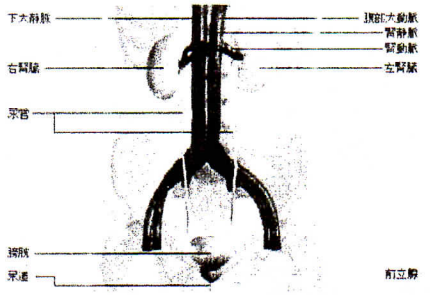
腎疾患総論-1
病態とその症候・機序・診断法

2013年4月22日

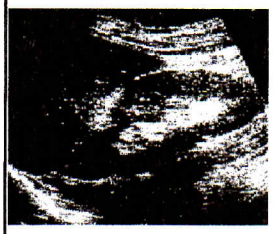
腎臓内科　西田秀範

腎臓の位置

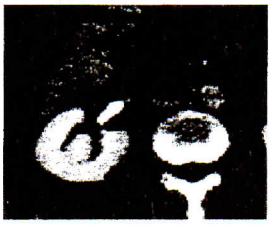


高さはL1-L2のあたり。長径12cm程度でソラ豆状の形で重さ約150g。
腎血流量は1-1.2L/分で心拍出量の1/5に相当。

腎臓の画像診断



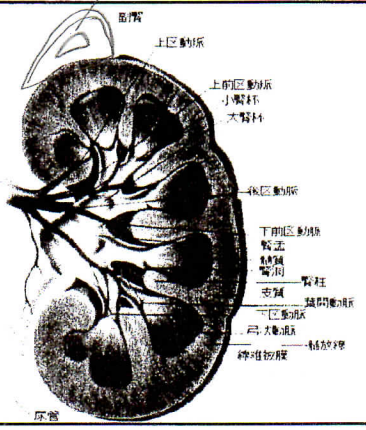
超音波



CT

腎臓の構造

副腎



腎臓の機能

1. 老廃物の排泄
   尿素、クレアチニン、尿酸など
2. 水・電解質の調節
   体内水分量、電解質(Na, K, Ca, P, Mgなど)濃度
   酸・塩基平衡 → pH7.4を維持べく
3. 内分泌機能
   エリスロポエチン、レニン産生、ビタミンDの活性化
   アルドステロン・抗利尿ホルモン・副甲状腺ホルモンの作用を受ける。
   血圧　水のコントロール　ビタミンDと関連
4. 代謝機能
   アンモニア産生、蛋白代謝、インスリン分解など

造血

血圧維持

腎どうが悪くなると、インスリンをへらさないといけない。

腎糸球体 1